

平成 29 年度 学校運営方針

川崎市立南生田中学校
校長 網屋 直紹

1 教育基本法

○第1条（教育の目的）

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

○第2条（教育の目標）第1号

幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

2 学校教育法

○第30条第2号（抜粋）

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

3 学習指導要領の基本方針

- (1) 教育基本法等で明確となった教育の理念を踏まえ「生きる力」を育成すること。
- (2) 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること。
- (3) 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心と健やかな体を育成すること。

4 川崎市の教育目標

- 科学的で実行力のある市民
- 民主的で明るい市民
- 文化的で心身ともにゆたかな市民
- 生産的でたくましい市民
- 国際的で幅のある市民

5 かわさき教育プラン

- (1) 基本理念
夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く
- (2) 基本目標
○自主・自立 ○共生・協働
- (3) 第1期実施計画（平成27～29年度）の基本施策
 - ①人としての在り方生き方の軸をつくる
 - ②学ぶ意欲を育て、「生きる力」を伸ばす
 - ③一人ひとりの教育的ニーズに対応する
 - ④良好な教育環境を整備する
 - ⑤学校の教育力を強化する
 - ⑥家庭・地域の教育力を高める
 - ⑦いきいきと学び、活動するための環境づくり
 - ⑧文化財の保護活用と魅力ある博物館づくり

6 本校の学校教育目標

「師弟同行」の精神を基にして、より良い社会を創り上げる豊かな人間の育成を目指す

(1) 個性と能力を磨く

学習の基礎・基本をしっかりと身につけ、自ら考え、正しく判断する力を養う。

(2) 思いやりの心を育む

自他を大切にし、礼儀、情操を重んじ、より良い美しいものを愛する心を育てる。

(3) 気力と体力を高める

健康と体力を増進し、逞しい心身の陶冶によって、責任感と実践力を身につける。

(4) 勤労と奉仕の心を培う

勤労と奉仕の心を尊び、広い相互理解に立って、郷土を愛し美しい学校の維持に努める心を培う。

7 教育方針

(1) 生徒中心の教育

生徒理解を深め、一人ひとりの特性を生かし、伸ばす教育の充実に努めるため、学習指導要領の趣旨等を十分に踏まえた教育課程を編成し、生徒に「生きる力」（確かな学力、豊かな心、健やかな体等）を育成する。

(2) いじめ・不登校のない学校生活

いのちの教育、心の教育の充実に努め、生徒や保護者、地域等との信頼と連携をもとに、明るく生き生きとした学校づくりを推進する。

(3) 地域に開かれた学校

学校・家庭・地域の連携を図り健全な生徒の育成に努め、学校組織としてのスクールコンプライアンスの意識を高め、信頼され愛される学校づくりに努める。

(4) 学び続ける教職員

生徒と共に考え活動していけるよう、教職員一人ひとりが自らの資質や指導力の向上に努め、地域に根ざした特色ある教育活動を展開する。

8 重点目標

(1) 3年間の中期重点目標(平成27～29年度)

①教科指導の充実 【授業改善によるわかる授業の実施】

- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得
- 家庭での学習習慣の確立
- 特別支援教育の充実
- 学習評価の研究と実践
- 思考力、判断力、表現力等の育成
- 人権尊重教育、道徳教育の充実
- 「キャリア在り方生き方教育」の研究

②生徒活動・体験活動の充実 【生徒中心の教育】

- 総合的な学習の時間の系統的・計画的運用の研究
- 生徒会活動や行事、学年・学級活動等の活性化と活動を通じての集団づくり
- かわさき共生＊共育プログラムの実施と活用
- あいさつ運動の推進
- 朝読書の取組
- 部活動の充実
- 責任感やリーダー性、自主性・主体性の育成
- 所属感や存在感、充実感、安心感を味わえる学級づくり

③健康・安全教育の推進 【いじめ・不登校のない学校生活】

- 教育相談の充実及び支援を要する生徒への支援と相談
- 基本的な生活習慣の確立(挨拶や服装、時間等)
- 健康で丈夫な体づくり
- いじめや問題行動等の未然防止と早期解決
- 学校事故への予防安全と危機管理への対応研究
- 学校防災教育の充実
- 学習環境の整備
- 自尊感情や他者を思いやる心の育成
- 生徒相互の望ましい人間関係の構築
- 生徒理解に基づく信頼関係の構築

④家庭・地域との連携 【地域に開かれた学校】

- 家庭、地域との継続的な連携
- 広報活動の充実と教育情報の積極的な発信
- 体罰や不適切な指導の根絶と不祥事の防止、公務員倫理の確立

⑤教育活動の推進 【学び続ける教職員】

- 教職員研修の充実
- 学校評価を生かした教育活動の推進
- 組織的な活動の推進と報告・連絡・相談の徹底
- 校務の情報化の推進と個人情報保護・管理の徹底
- 公簿や備品管理の徹底

(2) 今年度の重点目標

◆【基礎的・基本的な知識技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等の確かな学力の育成】

特別支援の考えを踏まえ、授業改善に努めながら生徒にとってわかりやすい授業を行い、基礎的・基本的な知識技能の確実な習得を図るとともに、思考力、判断力、表現力等を育成する。また、授業での評価場面の設定・運用や評価資料の収集、定期試験問題の工夫等により、より客観性の高い評価を行い、授業や面談等の様々な機会を活用して、評価方法や内容についての説明を継続的に行い、確かな学力の育成を図る。

◆【生徒の主体的な活動の充実とリーダー性・自主性等の育成】

生徒の主体的な活動を推進するため、生徒会活動の活性化、総合的な学習の時間の系統的・計画的運用、地域や保護者の力を活用した生徒活動・体験活動の充実を図る。

◆【人権尊重教育の充実とキャリア在り方生き方教育の推進】

人権尊重教育研究推進校としての取組を充実させ、生徒相互の望ましい人間関係の構築及び自尊感情や思いやりの心を育成する。また、人権尊重教育とキャリア在り方生き方教育を関係付けながら、報告・連絡・相談の徹底を行い、該当学年や生徒指導担当、特別支援コーディネーターを中心とした組織的に取り組む体制の充実を図り、いじめや不登校、問題行動等への対応を行っていく。

9 各教科等の研究主題

○国語

表現活動を取り入れた授業展開の工夫

○社会

言語活動を通して、基礎基本を定着させるための研究

○数学

学び合い活動を通して自ら考え、伝え、基礎・基本の定着を図る授業実践の研究

○理科

実験観察を通して、基礎的な学習内容を定着させる指導法の研究

○音楽

自らすすんで音楽表現する喜びをもとめて ～表現力を育成するための指導法の研究

○美術

生徒に創造活動の喜びを味わわせ、美術を愛好する指導法と教材の開発

○保健体育

体育分野 積極的に運動に親しみ、コミュニケーションを大切にしながら運動の楽しさや喜びを深めるための学習指導と評価計画の工夫

保健分野 生涯を通じて自らの健康を適切には管理し、改善していく資質や能力を育成するための学習指導と評価計画の工夫（実践力の育成）

○技術・家庭

基礎基本の定着を図り、一人一人が個性を生かして自主的に生活に実践できる力を育てる

○英語

基礎基本を定着させ、コミュニケーション能力を高める授業の工夫

○道徳

自他の個性や立場を尊重し、思いやりと共生の心を養う道徳教育の推進

○総合的な学習の時間

各学年でテーマに沿った探究的学習活動を進める力を育成する。

他者の考えを受け入れながら、問題の解決や探究活動を協同で行う。

○特別活動

自ら主体的活動する生徒の育成を目指して

～自己肯定間の育成とよりよい人間関係の育成～